

AJU車いすセンターの活動

自立生活センターとは

障害当事者が中心となって運営し障害者のためのサービスを提供するのが自立生活センターです。昔は障害者を助けられるのは医者やリハビリ、カウンセラーなどの専門家だけだと考えられていましたが、「私たちのことを私たち抜きに決めないで」と障害当事者が立ち上がり、自分たちの経験を活かした障害者の自立生活を支援しています。

自立生活ってなに？

自分で立つこと？
 いなくても自分で洋服を着たり、
 トイレができること？
 それとも自分で自分のご飯を食べるお金を稼ぐこと？
 誰にも頼らず一人で生きていくこと？

いいえ、車いすを利用して移動したって、介助者を使って服を着替えてもいいんです。年金で生活するのも、必要なサービスを受給して地域で生活することもちゃんとした権利です。

1. ピア・カウンセリング・自立生活プログラム



障害者のエンパワメントを目的に自立生活支援事業を行っています。

2. 車いす無料貸出

怪我をして一時的に車いすが必要な方や、福祉制度があっても必要な支援を受けられず困っている人などに、無料で車いすの貸出を行っています。

3. 啓発活動

差別や人権に関わる問題を広く一般の人に知ってもらう活動をしています。

● 愛知TRY

「差別をなくそう！愛知から」をキャッチフレーズに障害者差別解消法の周知や誰もが入りやすいお店を増やす活動をしています。



4. 海外支援、国際交流

海外、特に発展途上国からの研修生を受け入れ障害者リーダーの育成を行っています。また、世界の自立生活センターとの交流会を定期的に実施しています。



私たちの考える自立とは

ひとりの人間としてその存在を認められることです。自分の人生においてあらゆる事柄を選択し、自分の人生を自分なりに生きていくことです。自立生活とはどんなに重度の障害があっても、その人生において自ら決定することを最大限尊重されることです。

「自立生活とはどこに住むか、いかに住むか、どうやって自分の生活をまかなうか、を選択する自由をいう。それは自分が選んだ地域で生活することであり、ルームメイトを持つか一人暮らしするか自分で決めることであり、自分の生活一日々の暮らし、食べ物、娯楽、趣味、悪事、善行等々すべてを自分の決断と責任でやっていくことであり、危険を冒したり、過ちを犯す自由であり、自立した生活をする事によって、自立生活を学ぶ自由でもある」

